

(前期) 1～4年次・選択

【概要・目標】

衣・食・住、空気や水、騒音などの物理的環境、廃棄物などの身近な生活環境と、個人や集団の健康との関わりを概説する。また、生化学的な側面から外部環境が変化した際のヒトの適応を概説する。また、健康で豊かな生活を確保するために衣・食・住などの問題について、自然科学的視点のみならず、社会経済的視点も含めて指摘し、さらには、健康障害を予防する対策を家族・患者などに指導できる能力を養う。

【授業内容のスケジュール】

(担当)

1) 生活環境と健康 (その1: 大気的正常成分)	森岡
2) 生活環境の健康 (その2: 大気汚染物質)	森岡
3) 人体の組成と栄養素	太田
4) 酵素の構造と機能	太田
5) 代謝経路とその調節 (その1)	太田
6) 代謝経路とその調節 (その2)	太田
7) 遺伝子の構造と機能	太田
8) 生活環境と健康 (その3: 水)	森岡
9) 生活環境と健康 (その4: 水の浄化方法)	森岡
10) 生活環境と健康 (その5: 騒音・振動)	森岡
11) 生活環境と健康 (その6: 放射線)	森岡
12) 生活環境と健康 (その7: 住居)	森岡
13) 生活環境と健康 (その8: 廃棄物)	森岡
14) 環境衛生検査、生体情報の観察などの実習 (その1)	森岡
15) 環境衛生検査、生体情報の観察などの実習 (その2)	森岡

【評価】

講義を学生との対話形式で進めていくので、受講者は主体的に課題に取り組むように期待する。評価方法は、試験 (80%)、レポート (10%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (0%)、参加態度 (10%)、その他 (0%)

【教科書】

特になし

【推薦参考図書】

岸玲子、古野純典、他 編「NEW予防医学・公衆衛生学 改訂第3版」南江堂 2012

武田眞太郎、宮下和久 著「公衆衛生学 四訂版」培風館 2015

石黒伊三雄 監修「わかりやすい生化学 第5版 疾病と代謝・栄養の理解のために」

ヌーヴェルヒロカワ 2016